

日本船舶海洋工学会賞授賞に関する内規

平成 22 年 11 月 19 日理事会承認
平成 24 年 3 月 16 日理事会承認
平成 28 年 11 月 11 日理事会承認
令和 2 年 1 月 31 日理事会承認

1. 日本船舶海洋工学会賞の授賞はこの内規による。
2. 授賞の対象
 - (1) 造船、造機、海洋工学その他一般海事に関する優秀な論文・著書・調査及び実用的価値のある新技術の開発・発明・考案等で公表されたもの。
 - (2) 論文による受賞候補者は本会会員に限らない。
 - (3) 著書・調査・開発・発明・考案等による受賞候補者は本会会員とする。ただし、受賞候補者が複数で本会会員が代表者である場合は本会会員以外の者を含むことを妨げない。
3. 推薦及び申請
 - (1) 本会論文集及び Journal of Marine Science and Technology (JMST) に公表された論文は、すべて受賞候補の対象とし、事務局が申請手続をとる。
 - (2) その他の論文については、本会代議員、本会の研究企画委員会委員及び本会から推薦を依頼した機関（関係学会・大学・研究所・団体・会社等）の長が受賞候補を推薦するものとする。
 - (3) 著書・調査・開発・発明・考案等の受賞候補は、本会会員の推薦又は本人よりの申請によるものとする。ただし、一度応募して入選しなかったものでも再度申請して差支えない。
 - (4) 推薦又は申請手続は、別紙の様式に必要な事項を記入のうえ、審査資料 2 部を添付して本会宛提出することとする。期限は毎年 1 月末日とする。
4. 授賞の種類及び件数
論文に対する授賞は年 4 件以内、著書・調査・開発・発明・考案等に対しては原則として年 3 件以内とし、賞の種類は下表の通りとする。

	本 賞	副 賞
論 文	日本船舶海洋工学会賞 (賞状・賞牌) 4 件以内	日本造船工業会賞 (賞状・賞金) 2 件以内 日本海事協会賞 (賞状・賞金) 2 件以内
著書・調査 開発・発明 考案等	日本船舶海洋工学会賞 (賞状・賞牌) 3 件以内	

各賞の賞状は、1 件につき 1 枚とし、受賞者が複数の場合は全員を列記する。賞牌は原則として全員に授与する。

5. 論文の審査
論文の審査は、論文審査委員会において次の要領で実施する。
 - (1) 審査の対象とする受賞候補は次のものとする。ただし、既に発表された関連論文についても一括して審査の対象とすることができる。
 - a) 本会論文集及び JMST に前年発表された論文。
 - b) 上記 a) 以外で推薦された前年発表の論文。
 - (2) 論文審査委員会は、前 (1) の論文について審査を行い、審査結果に基づいて受賞候補を選定し、理事会に報告する。

(3) 候補論文の著者・共著者等利害関係を有する委員は、当該論文の審査には参加しない。

6. 著書・調査・開発・発明・考案等の審査

著書・調査・開発・発明・考案等の審査は、理事会が組織する本会発明考案等審査委員会において次の要領で実施する。

- (1) 審査の対象となる授賞候補は、数年以内に公表された造船・造機・海洋工学その他一般海事に関する優秀な著書・調査及び実用的価値のある新技術の開発・発明・考案等で本会会員の推薦あるいは本人からの申請のあったものとする。
- (2) 発明考案等審査委員会は授賞候補を選定し、理事会に報告する。
- (3) 審査委員長と候補者が同じ組織に所属する場合は、委員長を他の委員から互選する。
- (4) 選考理由（落選を含む）は委員会内文書とし、保存期間を作成の日から2年間とする。

7. 発明考案等審査委員会

本会に発明考案等審査委員会を置く。

発明考案等審査委員会は、副会長を委員長とし、理事及び論文審査委員会委員それぞれ若干名を委員として構成する。委員は理事会の議を経て会長が委嘱する。

委員長が必要と認めた場合には、臨時委員を委嘱することができる。

8. 授賞

理事会は論文審査委員会及び発明考案等審査委員会の報告に基づいて授賞候補を決定し、定時総会または講演会において授賞する。

9. 日程

推薦・申請・審査及び授賞の手続き日程は次を標準とする。

- ・ 推薦・申請 : 1月末
- ・ 審査委員の選出 : 1月末
- ・ 審査 : 2月末
- ・ 授賞決定 : 3月理事会
- ・ 授賞 : 5月定時総会または講演会

附 則

- (1) この内規は、平成22年11月1日から施行する。
- (2) この内規の変更は、平成24年3月16日より施行する。
- (3) この内規の変更は、平成28年11月11日より施行する。
- (4) この内規の変更は、令和2年2月1日より施行する。

別紙（様式）

令和 年度日本船舶海洋工学会賞候補推薦書
(論文、著書、調査、開発、発明、考案等)

	受付	No.	年 月 日
推薦者 (氏名)	(提出年月日) 年 月 日		
(所属)	印		
(住所)			
候補者	氏名	所属	住所
	(代表者)		
事項	種類	論文 著書 調査 開発 発明 考案 その他	
	主題		
	概要	別紙に 1000 字程度にまとめて下さい。	
	公表時期	(年 月 日 において)	
	公表形式	(掲載誌名巻号等)	
他の賞に 推薦又は 申請の有 無			
審査資料	著書・調査に対しては該当する著書・報告書を 2 部提出すること。 新技術の開発・発明・考案に対しては、 ① 技術の詳細な説明 ② 技術提携の有無 ③ 特許実用新案の内容と審査状況 ④ 開発を企画した動機と経過概要 ⑤ 技術的に最も苦心した点と解決に至った経過 ⑥ 産業界に及ぼした影響 等を明記し、必要あればこれを説明する資料を添付すること。		